



取材要項

—申請前に、本要項を必ずご一読ください—

期 間 2024年9月22日(日)
会 場 北海道立野幌総合運動公園水泳プール
〒069-0832 北海道立野幌総合運動公園水泳プール
報道受付 9月22日(日)8:00～
《北海道立野幌総合運動公園水泳プール／1階報道入口内》

2024年9月
水泳の日 実行委員会



目 次

イベント概要	2
イベント実施概要	3
実施内容	4
報道取材に関するお願い	8
1. 取材申請について	9
2. 取材可能団体について	9
3. 取材について	10
4. 大会期間中の取材についてのお願い	11
5. 写真、映像など撮影素材について	11
6. 備考	11
報道エリア	12



イベント概要

「水泳の日」とは、(公財)日本水泳連盟が2012年に発表した「ドリームプロジェクト2020」の柱のひとつである「スポーツによる社会貢献」としての活動です。

水泳競技のさらなる普及・発展、そして競技力向上、競技人口の裾野を広げるきっかけとなるとともに、海洋国家の日本において、国民全員が泳げ、水難事故を少なくしていくことにもつながってほしい。そういう思いを込めて、中断となっていた「国民皆泳の日」を、改めて「水泳の日」として制定しました。

水泳は「命を守ることができるスポーツ」です。もっと普及して、水泳に親しみを持ち、水を楽しむ人々を増やし、全国民に泳ぎをマスターして欲しいと願っております。今後「水泳の日」が、生涯スポーツとしての普及、万人が見て楽しめるコンテンツ、水難事故対策など水泳文化構築のきっかけとなる様、様々な施策を推進していきます。

主催となる、(公財)日本水泳連盟、(一社)日本スイミングクラブ協会、(一社)日本マスターズ水泳協会、(一社)日本パラ水泳連盟が力を合わせ、長期的なスパンで「水泳の日」としてのイベントを開催していきます。

記念すべき第1回は2015年8月14日(金)、第2回は2016年8月14日(日)に東京辰巳国際水泳場で開催され、オリンピック・現役選手の協力の下、多くの参加者が来場し大盛況のイベントとなりました。

今年度は北海道で9回目の「水泳の日」を開催いたします。

なお、2020年2月、(一社)日本記念日協会の定める記念日に「8月14日は水泳の日」として認定登録されました。

国民全員で水泳を楽しむ日として、報道関係者の皆さんもぜひともご参加ください。

水泳の日 実行委員会



イベント実施概要

- | | |
|----------------|--|
| ■名称 | 水泳の日 2024・北海道 |
| ■英文呼称 | Swimming Day 2024 ・HOKKAIDO |
| ■スローガン | 水泳の日 泳いでつながる 笑顔の輪 |
| ■日時 | 2024年9月22日(日) 9:00~16:30(予定) ※8:30 開場 |
| ■会場 | 北海道立野幌総合運動公園水泳プール
〒069-0832 北海道立野幌総合運動公園水泳プール |
| ■主催 | 公益財団法人日本水泳連盟、
一般社団法人日本スイミングクラブ協会、
一般社団法人日本マスターズ水泳協会、
一般社団法人日本パラ水泳連盟、
一般財団法人北海道水泳連盟
江別水泳協会 |
| ■主管 | 一般財団法人北海道水泳連盟、江別水泳協会 |
| ■後援 | スポーツ庁(予定)、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会 |
| ■水泳の日パートナー | 東京海上日動火災保険株式会社 |
| ■水泳の日イベントスポンサー | 株式会社オーエンス、セイコーグループ株式会社、
タキロンマテックス株式会社、デサントジャパン株式会社、
株式会社ナガセ、株式会社ニッポン、
株式会社ブルボン、ミズノ株式会社、株式会社ヤクルト本社 |
| ■内容 | 公開型イベントと参加型イベント |
| ■ホームページ | https://swimmingday.com/ |



実施内容：公開型イベント

08:40～ オープニングアトラクション

江別 見晴台 鼓楽会 豊太鼓による演奏

09:00～ 開会式・始泳式

ご挨拶、主催者紹介、始泳式、開会宣言 など

09:10～ 日本泳法エキシビション

模範演技

解説・実演 / 向井流

9:20～ アーティスティックスイミングエキシビション

模範演技

解説・実演 / 乾友紀子、木島萌香、箱山愛香、中村麻衣、吉田萌

閉会式

※ゲストは変更になる可能性があります。



実施内容： 参加型イベント／競泳イベント

<メインプール>

11:00～ 東京海上日動プレゼンツ(4×50m)フリーリレー／チャレンジリレーの部

4名で50mずつ泳いで、ジュニアオリンピックの男子200m自由形大会記録(CS)1分48秒57にチャレンジ！達成したらプレゼントがもらえます！

11:30～ 東京海上日動プレゼンツ(4×50m)フリーリレー／ふれあいリレーの部

オリンピックや日本代表チームと一緒に泳げるふれあいリレー。
間近でオリンピックや日本代表の泳ぎを体感できるチャンスです！

12:00～ ニチレイチャレンジ 泳力検定会(1級・3級・水泳の日特別級)

最近泳いでいないあなたもチャレンジ！

全国統一の泳力基準である泳力検定にチャレンジしましょう！



実施内容：参加型イベント／水泳体験教室

<メインプール>

09:45～ ブルボンプレゼンツ 水球クリニック

水の中でのボールゲームである水球を学びます。
シュート・パス等の技術を日本代表選手より学びましょう。

09:45～ ヤクルトプレゼンツ みんなで楽しむアーティスティックスイミング

オリンピック・日本代表と一緒にアーティスティックスイミングを楽しみながら
アーティスティックスイミングの技に挑戦してみましょう。

13:15～ nippon プレゼンツ TOBIUO クリニック(水泳教室)①②

オリンピック等によるスイムレッスン

- ① スイムクリニック自由形「きれいな泳ぎを維持するクロールのポイント！」
- ② スイムクリニック背泳ぎ「腕をまっすぐ！伸びのあるきれいな背泳ぎ！」

nippon プレゼンツ TOBIUO クリニック(水泳教室)③

オリンピック等によるスイムレッスン

- ③ スタート練習「すばやい反応と抵抗の少ない入水でライバルに差をつけよう！」

13:15～ 水中動画撮影会

科学委員会主催による水中動画撮影会。普段見ることのできない水中の動きを撮影し、USBにて配布。

13:15～ 親子で楽しむ水遊び

泳げなくても大丈夫。水中お魚探しゲームやウォーキングで親子で一緒に水に親しみましょう。
最後は親子で一緒にけのびにチャレンジ！

14:00～ nippon プレゼンツ TOBIUO クリニック(水泳教室)④⑤

オリンピック等によるスイムレッスン

- ④ スイムクリニック平泳ぎ「無駄な力を抜いて泳ごう！疲れ知らずの平泳ぎ」
- ⑤ スイムクリニックバタフライ「スムーズなキックと腕の掻きの正しいタイミング！」。

nippon プレゼンツ TOBIUO クリニック(水泳教室)⑥

オリンピック等によるスイムレッスン

- ⑥ ターン練習「すばやいターンとスムーズな浮き上がりでライバルに差をつけよう！」



14:00～ 東京海上日動プレゼンツ パラ水泳体験会

黒塗りのゴーグルをして、視覚を閉じた状態で25m完泳にチャレンジしてみましょう。
タッパーという合図をする役割も体験。パラ水泳の世界に触れてみよう。

実施内容： 参加型イベント／水泳体験教室

<飛込プール>

10:00～ SAMURAI スイミング(日本泳法体験教室)

海や川、自然の中で生まれ戦国時代に武術、芸術として完成した日本泳法は、実用として、
また生涯スポーツとしても進化し続けている。500年の歴史、進化し続ける泳ぎを学びましょう。

①初心者

江戸時代に武術として完成した「サムライ」の泳ぎです。基本の足使いや、刀や扇を持った立泳ぎ、
水の中での書道などに挑戦！400年の歴史ある泳ぎを学びましょう。

②経験者

400年の歴史を受け継ぐさまざまな種類の高度な横泳ぎ、扇や和傘等を使った伝統の技を習得しま
しょう。

11:30～ 飛込クリニック

オリンピックによるレッスン。君も未来のオリンピック！

12:00～ OWS クリニック

オリンピックや日本代表選手とサバイバルスイムや立ち泳ぎなどのOWS特有の技術に挑戦します。
水難事故防止を目的に、日本ライフセービング協会講師より海や川などで自分の命を守るための
技術を学びましょう。

実施内容： その他イベント

<メインプール>

15:00～ SEIKO プレゼンツ SEIKO ターゲットタイム

SEIKOによる記録がつなぐチャリティイベント。

記録を通じ、水泳備品(ストップウォッチ)を支援するチャリティ企画。

<屋外>

11:45～ クリーン大作戦～来たときよりもキレイに！～

ゲストオリンピックと一緒に会場周辺のゴミ拾いをしませんか？

自分たちが使った場所を来たときよりもキレイにしましょう！私たちの行動がより良い未来に繋がっ
ていきます！



2024年9月

報道各位

報道取材に関するお願い

2024年9月22日(日)に行われます「水泳の日2024・北海道」の取材についてご案内いたします。報道関係の皆様
に支障なく取材していただくために、下記の要領にて取材・報道体制を整えております。ご一読の上、ご
協力賜りますようお願い申し上げます。

尚、取材に関しましては、あくまでもスポーツ報道としての取材を対象としておりますので、スポーツ報道以外
の目的での取材に関しては、必ず事前に水泳の日実行委員会事務局(info@swimmingday.com)までお問合せ
ください。

また、会場内での取材活動につきまして、当日の関係者の指示並びに下記の要項に著しく逸脱した場合は、
ご取材をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

1. 取材申請について

取材の申請は **9月17日(火)まで** に下記 URL (もしくは QR コード) よりお申し込みください。

<https://forms.gle/vc5dHGrRkU79t2Az9>



■取材申請受付サイト

※取材の申請は事前申請のみとなります。締切後の申し込みや、会場での直接の申し込みはお受けいたしかねますので、予めご了承ください。

2. 取材可能団体について

1日あたりの取材人数は下記の通りになります。

新聞社・通信社	
ペン記者	1社3名まで ※支社・系列社含む
スチールカメラ	1社3名まで ※支社・系列社含む
日本雑誌協会加盟社	
ペン記者	1社3名まで
スチールカメラ	1社3名まで
ラジオ局	
ペン記者	1社3名まで ※支社・系列社含む
テレビ局	
ENG	1社2クルー／1クルー3名まで(記者・クルー含む) ※カメラの台数は民生用デジタルカメラを含め各系列2台(各エリア1台)まで

3. 取材について

(1) 来場・受付

- ・ 報道受付は9月22日(日)8:30より1階報道入口内にて開始いたします。
- ・ 報道受付にて**名刺2枚**をご提出ください。
※名刺をお持ちでない方は、身分を確認できるものをご提示ください。
- ・ ENGクルーの方も必ずご記帳をお願いいたします。
- ・ 報道受付にて、ADカード、ビブスをお渡しいたします。会場内ではADカードを必ず着用してください。プレス用のADカード・ビブスなしでは取材できません。
- ・ 利用可能時間は**8:30～16:30**になります。時間厳守をお願いいたします。
- ・ ADカード、ビブスはお帰りの際にご返却をお願いいたします。

(2) 会場への入場について

- ・ 報道受付は、1階報道入口にございます。
- ・ 報道専用の駐車場はございません。一般駐車場をご利用ください。



(3) プレスワーキングルームについて

- ・ プレスワーキングルームはございません。指定エリアでの取材・作業にご協力をお願いします。

(4) インタビューについて

- ・ オリンピアン・参加者への取材は、インタビューエリアで行ってください。ご希望の場合は報道担当者までご連絡ください。
- ・ 本イベントに関わらない取材については、本申請では承認できません。

(5) その他

- ・ 実行委員会が定めた要項に反した場合は、今後、日本水泳連盟主催・主管・後援大会への取材をお断りする場合がありますのでご注意ください。
- ・ インタビューエリアは土足厳禁となっております。シューズカバー・サンダル等の上履きをご用意ください。
- ・ 取材終了後は、速やかにご退館をお願いします。

4. 大会期間中の取材についてのお願い

① ペン記者の皆様へ

- ・ 記者エリアはインタビューエリア、メインプール・サブプール観客席となります。
- ・ 指定エリア以外での取材はお断りしております。
- ・ インタビューエリアでの取材は、基本的にENGクルー⇒ペン記者の順番となります。
- ・ **インタビューエリアでの写真・映像撮影は禁止です。**
- ・ 記者の申請人数が多い場合には、ミックスゾーンへの立ち入りに制限を設ける可能性がありますをご了承ください。
- ・ 報道受付でADカードを受け取り、取材時は必ず着用してください。
- ・ 北海道立野幌総合運動公園水泳プール敷地内においては、決められた場所での取材をお願いいたします。

② スチールカメラの皆様へ

- ・ 撮影エリアはメインプール観客席となります。
- ・ 指定エリア以外での取材はお断りしております。
- ・ インタビューエリアへの立ち入りはできません。記者／スチールカメラ兼任でご取材の方は、ビブスを取ってお入りください。
- ・ 報道受付でADカードとビブスを受け取り、撮影時は必ず着用してください。
- ・ 報道目的以外の使用は、必ず水泳の日実行委員会事務局または報道受付へお問合せください。
- ・ 北海道立野幌総合運動公園水泳プール敷地内においては、決められた場所での取材をお願いいたします。



③ ENGクルーの皆様へ

- ・ 撮影エリアはインタビューエリア、メインプール観客席となります。
- ・ カメラ台数は民生用デジタルカメラを含め各系列2台(各エリア1台)までに制限させていただきます。
- ・ 指定エリア以外での取材はお断りしております。
- ・ 報道受付でADカードとビブスを受取り、撮影時は必ず着用してください。
- ・ 報道目的以外の使用は、必ず水泳の日実行委員会事務局または報道受付にお問合せください。
- ・ 北海道立野幌総合運動公園水泳プール敷地内においては、決められた場所での取材をお願いいたします。

5. 写真、映像など撮影素材について

- ・ 本イベントで撮影された写真、映像などを、事前に申請された媒体以外で許可なく使用された場合、今後の取材をご遠慮いただくことがあります。許可された写真を掲載する際には、必ず撮影者の氏名を明記してください。本イベントで撮影された写真を掲載された雑誌は必ず水泳の日実行委員会事務局へご提出ください。

6. 備考

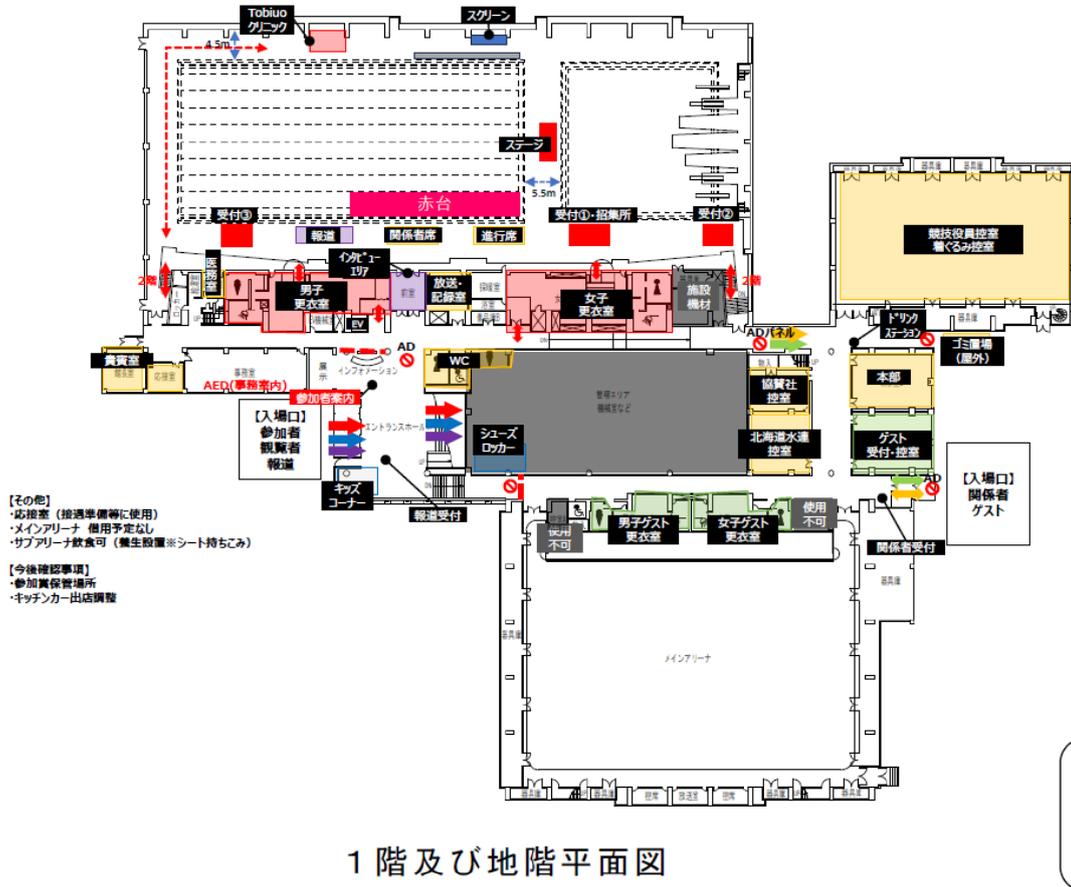
- ・ インターネットメディア単体での取材申請は原則として受け付けておりません。
- ・ インターネットメディアについては、報道機関が発行する新聞・定期刊行物のほか、スポーツニュース協会加盟社及びニュース番組で、それを補完するためのホームページ(無料による情報提供に限る)は静止画像の掲載が可能です。但し、上記報道機関においては、取材申請の許可は主たる媒体に対して行うもので、インターネット単体での申請はお受けしておりません。
- ・ インターネットに掲載した情報は無償で閲覧出来ることを大前提としており、有償での掲載はお断りしています。
- ・ 日本水泳連盟の権益を侵したり、特定の個人を誹謗・中傷するなど、日本水泳界にとって不利益となる活動を行った場合は、対応策を検討する場合がございます。

※本大会協賛各社からの申請はお受けできません。

本件に関するお問合せ先
公益財団法人日本水泳連盟
「水泳の日2024・北海道」実行委員会 渡辺
電話 03-6812-9061
(10:00~16:30/土・日・祝日を除く)
E-mail jasf.lifelong.sports@gmail.com

報道エリア

※指定エリア以外での取材はお断りしております。



1階及び地階平面図

水泳の国 HOKKAIDO 2024

